



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「笑顔と心のある学校」

村上市立荒川中学校
令和2年度第2号
令和2年5月7日発行

学校再開！これからも気を引き締めて

校長 渡辺 安治

野山に吹く風がさわやかな季節となりました。また五月に入り、急に暑くなるときもあります。このような中でも、コロナウイルス感染症の広がりが一向に衰えを見せません。「緊急事態宣言」も継続です。いつかは終息するのですが、全く先が見えないので余計心配になってきます。

学校が再開されたからといって、安心はできません。感染が拡大すれば、三度目の臨時休校もあり得ます。かといって恐れてばかりではいられません。手洗い・うがい、三密にならないような対策を以前に増して講じて行く必要があります。生徒も私たちも自分の健康は自分で守ることを家庭・学校でも外出先でも、しっかり備えていかなければなりません。

臨時休校が続く中、五月五日の夜遅くに村上市の対策本部の決定を受け、市教委から『学校を再開する』という通知がきました。但し、緊急事態宣言が継続中ですので、学年ごとに分散登校を設定しながら、生徒が学校生活を徐々に取り戻していくというものです。また、市教委の当初の計画と学年を入れ替え、進路に不安を抱える三年生を分散登校日の初日に持つてきたことも大きな配慮と受け取ることができます。休校中学級担任の先生方が中心となり、生徒の自宅に電話をかけ、からだと心の健康状態を声で感じ取り確認しました。「早く学校が再開してほしい。」「勉強も心配になってきている。」「部活動をして体を動かしたい。」「など元気な声を聞かせてくれました。そのような悲痛とも言える声が、「こどもの日」に大人たちに届き、夜遅くまで審議を重ね決定したと思われず。学校としても感謝しています。

授業も再開します。各学年の学習内容を今年度内に余裕をもって終えることができるように、私たちも最善の努力をします。法定授業時数の確保が大きな課題です。そのため今後の教育活動を十分検討して、進めて参ります。また、学習内容を充分定着させるためには、家庭学習にも工夫が必要です。学習時間と自由時間にメリハリを付けること、時間の使い方や課題に取り組む計画を無理のない実行できるもので始めること、などがより大切となってきます。

保護者の皆様には臨時休校の間、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。お陰様で子どもたちが大きな事故なく登校することができました。地域の皆様からは、今後とも子どもたちへの励ましの言葉をいただきますようよろしくお願い致します。